

送配電等業務指針第23条第1項第2号アからエまでの要件適否の状況に係る詳細について(9月末現在)
(案)

ア. 地域間連系線の利用実績
空容量/運用容量が5%以下の時間数比率

連系線	2014/10~2015/9		判定
	順方向	逆方向	
北海道本州間連系設備	0%	32%	○
東北東京間連系線	0%	0%	
東京中部間連系設備	3%	44%	○
中部関西間連系線	0%	0%	
北陸関西間連系線	0%	0%	
関西中国間連系線	0%	0%	
中国四国間連系線	0%	0%	
中国九州間連系線	0%	3%	
中部北陸間連系設備	5%	5%	
関西四国間連系設備	0%	22%	※
中部北陸間連系設備 北陸関西間連系線迂回	0%	0%	
関西四国間連系設備 中国四国間連系線迂回	0%	0%	

イ. 地域間連系線の年間計画
空容量/運用容量が5%以下の時間数比率

連系線	2015/12~2017/3		判定
	順方向	逆方向	
北海道本州間連系設備	1%	90%	○
東北東京間連系線	36%	0%	○
東京中部間連系設備	0%	76%	○
中部関西間連系線	1%	2%	
北陸関西間連系線	0%	0%	
関西中国間連系線	0%	0%	
中国四国間連系線	0%	0%	
中国九州間連系線	0%	17%	
中部北陸間連系設備	6%	6%	
関西四国間連系設備	0%	0%	
中部北陸間連系設備 北陸関西間連系線迂回	0%	0%	
関西四国間連系設備 中国四国間連系線迂回	0%	0%	

判定 ○ :運用容量に対する空容量が5%以下の時間数比率が、過去1年間で20%以上となった場合
※他の連系線への迂回が可能である潮流については、他の連系線に迂回したのとして取り扱い総合的に判断する

ウ. 地域間連系線の長期計画
空容量/運用容量

連系線	時間帯	方向	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	判定
北海道本州間連系設備	ピーク	順方向	17%	17%	11%	11%	11%	11%	11%	11%	
		逆方向	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	○
東北東京間連系線	ピーク	順方向	14%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	○
		逆方向	564%	583%	666%	666%	777%	769%	769%	769%	
東京中部間連系設備	ピーク	順方向	63%	63%	63%	63%	36%	33%	33%	33%	
		逆方向	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	○
中部関西間連系線	ピーク	順方向	126%	118%	118%	132%	132%	127%	127%	127%	
		逆方向	56%	59%	59%	53%	53%	55%	55%	55%	
北陸関西間連系線	ピーク	順方向	98%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	97%	
		逆方向	95%	96%	96%	96%	96%	96%	96%	96%	96%
関西中国間連系線	ピーク	順方向	135%	131%	128%	143%	143%	143%	143%	143%	
		逆方向	33%	30%	33%	25%	25%	23%	23%	20%	
中国四国間連系線	ピーク	順方向	29%	27%	27%	27%	27%	27%	27%	27%	
		逆方向	93%	96%	96%	96%	96%	96%	96%	96%	
中国九州間連系線	ピーク	順方向	882%	883%	883%	1008%	1008%	1027%	1027%	1027%	
		逆方向	16%	16%	16%	2%	2%	0%	0%	0%	○
中部北陸間連系設備	ピーク	順方向	188%	192%	192%	192%	192%	192%	192%	192%	
		逆方向	12%	8%	8%	8%	8%	8%	8%	8%	8%
関西四国間連系設備	ピーク	順方向	14%	14%	14%	14%	14%	14%	14%	14%	
		逆方向	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%
中部北陸間連系設備 北陸関西間連系線迂回	ピーク	順方向	62%	63%	63%	63%	63%	63%	63%	63%	
		逆方向	81%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%
関西四国間連系設備 中国四国間連系線迂回	ピーク	順方向	21%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	20%	
		逆方向	46%	47%	47%	47%	47%	47%	47%	47%	

□:運用容量に対する空容量が10%以下の年

判定 ○ :運用容量に対する空容量が10%以下の年が3年以上となった場合
※他の連系線への迂回が可能である潮流については、他の連系線に迂回したのとして取り扱い総合的に判断する

エ. 市場取引状況
市場分断処理の時間数比率(2014/10~2015/9)

連系線	北海道本州		東北東京		東京中部		中部北陸		中部関西		北陸関西	
	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆
分断比率	1.1%	4.4%	0.0%	0.0%	1.8%	41.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
判定						○						

連系線	関西中国		関西四国		中国四国		中国九州	
	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆
分断比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
判定								

判定 ○ :過去1年間に市場分断処理を行った商品の数が、過去1年間の総商品数の20%以上